

会 長：長友芳郎 幹 事：川上 勉 連絡先：TEL 0297-64-3956 FAX 0297-64-3978 <http://rcrc.web5.jp>
事務所：〒301-0824 茨城県龍ヶ崎市下町 2842 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 ザ・ゴルフクラブ龍ヶ崎

本日のプログラム

【通常例会 03.31】
クラブフォーラム
(会員増強と親睦)
会員増強(親睦)委員会



次回のプログラム

【通常例会 04.07】
観桜会
(友好四クラブ合同)
会員増強(親睦)委員会

第 1162 例会報告 (2023.03.23)

点 鐘	会長 長友芳郎
国歌斉唱・Rソング	それでこそロータリー
本日のプログラム	ライラ報告
ゲスト・ビジター	瀧澤日菜乃さん 川口紗英さん 寺崎真氏(龍ヶ崎市社会福祉協議会)
水と衛生月間	

会長報告

長友芳郎 会長

◇会長代理報告：本日は、長友会長・横山事務局長・伊藤会員の三名の方がお休みになっています。長友会長と横山事務局長は、龍ヶ崎中央ロータリークラブのチャターメンバーで、25年ロータリーを継続しています。二人ともロータリーを良く理解しているいろいろなロータリーの情報を教えてください。荒木会員は、20年以上のロータリー歴で、職種は、弁護士で、今までの経験をやはりいろいろ教えてください。川上幹事は、20年のロータリー歴で、幹事を数年続けて受けてくれています。当クラブは、他クラブにない特徴のあるクラブです。ロータリーの始まりは1905年に始まりました。10年後の1915年にライオンズクラブが始まりました。

ライラセミナーには、龍ヶ崎中央ロータリークラブは、10年以上毎年参加しています。本日は、参加者の瀧澤さんと川口さんのライラ参加報告をお願いいたします。



幹事報告

川上 勉 幹事

◇ロータリー米山記念奨学会から今月の“ハイライトよねやま 276号”ができあがりしましたので、お送りいたします。

◇2023.04.17.月曜日.筑波カントリークラブで地区大会記念ゴルフ大会が開催されます。参加希望の方は幹事までお申し込みください。
◇東京たまがわ RC からゴルフ参加5名、観桜会参加 6名の参加登録がありました
◇2023.04.16.(日).2022-23 年度「ロータリー賞」のための最終説明会が Zoom で開催されます。
◇2023.04.23.(日).地区研修協議会が開催されます。点鐘:09.00 昼食:12.30-13.15 講演:13.20-14.40
◇ガバナーノミニー・デグジネート確定宣言 瀬戸隆海(せと りゅうかい)氏(水海道 RC)

■出席状況			
会 員	8 名	出席率	100.00%
出席者	8 名		
出席免除	0 名	Make-up	0名
定款第10条(第6-7節除く)			

■ニコニコボックス			
目標額	(本年度)	400,000 円	
実績額	本日/累計	10,000円	328,000円

■MESSAGE	
川上会員	ライラ参加お疲れさまでした。
荒木会員	ライラ参加 御苦労様でした。お話を楽しみに来会しました。
石崎会員	本日はありがとうございます。
海老原会員	3月24日はホスピタリティ・デー Hospitality とは、「おもてなし」や「思いやり」という意味です。
松山会員	桜を楽しみたいです。

■今後のスケジュール	
04/07. 金	観桜会(4クラブ合同) The Golf Club 竜ヶ崎
04/08. 土	PETS(ホテルテラスガーデン水戸)
04/16. 日	米山オリエンテーション・会長賞説明会
04/17. 月	地区大会記念ゴルフ大会(筑波CC)
04/23. 日	DTA(水戸プラザホテル)
05/29. 日	国際大会(メルボルン)

《例会の欠席は、水曜日 AM 10:00 までに川上幹事 TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。》

本日のプログラム

ライラセミナー報告会

瀧澤 日菜乃さん 川口 紗英さん
(龍ヶ崎第二高等学校)



龍ヶ崎二高で春から3年の瀧澤日菜乃です。社会福祉協議会のボランティアは去年の9月から参加させてもらっています。

今日は短い時間にはなっていますが、ライラセミナーでの経験や体験などをたくさんお伝えできるように頑張ってお伝えしてきました。

未熟の上、お見苦しい姿をおみせしてしまうかもしれませんが、あたたかい目でご覧いただけたら幸いです。よろしくお願いします。

こんにちは。龍ヶ崎一高で春から2年の川口紗英です。まずこの度はRYLAセミナーに参加できる機会をいただき、そして本日お時間をいただきありがとうございます。私は昨年の11月ごろから社協の高校生ボランティアに参加させていただいています。ロータリーの皆さんとは初対面の方が多のですが、ぜひ今日はRYLAセミナーでの経験を詳しくお伝えできたらと思いますので、よろしくお願いします。

②.2 日間での活動について・講義概要(瀧澤)

2日間の活動内容は、まずSDGsに関する講義を受け、合間にBBQやレクを行いながら5~8人のグループで「いま私たちにできること」に視点を置いたプレゼン発表です。正直このセミナーに参加するまでSDGsはよく聞くものの、本当に2030年までに達成できるのだろうか、そもそもどのような風に私達に関わるべきなのか、と自分の中でしっかり解釈できてはいませんでした。

そんな疑問を解消してくれたのが、3名の講師の方による講義です。(スライドの冊子を見せて紹介)中でもSDGsについて考えていくための手がかりをくださった星野さんは、ディスカッションを通して個人の考えを尊重し、多角的な視点で物事を考える力を伸ばしてくださりました。SDGsの特徴である”No one will be left behind”を強く感じた瞬間だったと思います。

・SDGsの概要説明

③.班での発表(川口)

今回のセミナーにおいてメインの課題となっていたのが、各チームでの発表です。私達のチームは日本人の高校生3名と留学生の高校生・大学生、日本に来て6年程度の社会人の方たちが集まり、沢山のコミュニケーションをとりながら意見をぶつけ合いました。与えられたテーマはとても広く、その上準備に費やせる時間も短かった為、何を一番に伝えたいのかについて長時間話し合った結果、「災害発

生時の避難」に関して、SDGs 目標 11「住み続けられるまちづくりを」をゴールと設定しました。

(スライド発表)

A グループ発表

ここで、ライラセミナーで作成したプレゼンテーションをみていただきたいと思います。よろしくお願いします。(礼)

街作りするには災害時に強い街だけではなくどんなときでも誰も残されて欲しくないです。

災害が起きたとき様々なニーズの違いを理解し、多様な住民が誰一人残されることなく、「助かって良かった」と言えるようなインクルーシブな防災活動を進めるにはどんな工夫が必要なのでしょう。

・In the US, we are unprepared for floods.

アメリカでは洪水に対する準備が来ていません

・ Even in known floods areas, basements and possessions get destroyed.

たとえ、洪水で知られている地域さえ、対策をしていないため、地下室や所持品がだめになってしまいます。

(瀧澤)

・Some people are careless.

Some wildfires are caused when regular people ignore fire safety while doing things, like parties, in the woods.

中には不注意な人もいます。一般の人達が森でパーティなどのようなことをしているのにも関わらず、火の始末をせず、山火事が起こることがあります。

(川口)

○避難訓練

私達は避難訓練を自分ごととして考えることも必要です。避難訓練は皆さんも1度は参加しているかと思いますが、学校内で事前に計画されて行われるものが多く、そこまで危機感を感じずに過ごしている面もあるかと思っています。

○小学校も地域避難訓練

これは私の体験談なのですが、小学校の時に学区全体の住民をできるだけ集めて炊き出し・ライフライン確保・避難所設営・引き渡し訓練をすべて行う日がありました。とは言ってもかなり前に1, 2回しかなかったもので、これが全ての地域で行われているとは限らないので、このような活動を自治体なども協力して年に1度ぐらいは開催してみることも、住民の皆さんに防災意識を根付かせるいい機会になると考えます。

『次頁へ続く』



○障害のある方には難しい

しかし、これらの訓練に参加するには冒頭で紹介した通り障害者の方々にはハードルが高く感じてしまうかもしれません。それに加え、誰もが不便やストレスを感じる避難場であれば、障害者の方にとって尚更ハードルが高い場所になってしまいます。

○困っている人を助ける

そこで、私たちにできることはとにかく周りで困っている方を助けて安心させることです。

○クリスマス

これもまた体験談になるのですが、以前地域で障害の有無に関わらない子供達向けのクリスマス会に参加したことがあり、初めて会った子供達と初対面のボランティア同士で助け合いながら、みんなが笑顔になれる会を作ることができました。

それには障害のある子の親御さんにどんな行動をするのかを先にお聞きしていたことで、最初是对応に苦戦したものの、ボランティア側で全員が安全に、かつできるだけ平等に子供たちとコミュニケーションをとれる様に仕事を割り振れたのが良い点だったと感じています。

更に、災害時は公共施設が避難所となるため公共施設を利用する際は、どこに何があるのかを確認するだけでいつ何が起きるか分からないからこそ綺麗で清潔な状況を保てる様にすることが重要です。

(瀧澤)

例えば図書館を普段利用している人は全体で約40%しかいないことを知っていますか。先日、私は公共施設について考え、パネルディスカッションをする機会がありました。

ディスカッションの中でも公共施設の維持費の課題が挙げられていました。

例えば私たちが普段通っている学校の体育館。

体育館の建設や維持するにはたくさんのお金がかかります。ですが、学校がない日などはあまり使われることがなく、せっかく高いお金をかけてたてたり維持したりしているのに勿体ないとは思いませんか？

そこで私たちは体育館の有効活用について考えました。そこでは体育館を地域の方々の集まる場としての解放などという意見がでました。

例えば体育館で防災の講習会をやるのはどうでしょうか？そうすることによって避難場所や防災への意識が変わったり、地域の方々のコミュニケーションの場ともなります。自分の地域にはどんな人が住んでいるのかを知ることが出来ます。どのような方が住んでいるのかを知ること、避難の際に自分が何をすることが出来るのかを考えることが出来ます。

また、集まる人々はその地域に住んでいます。そのため、避難の際に障壁になってしまうものについて知っており、共有することが出来ます。それにより、安全に避難することが出来ます。

障害がある人、ない人関係なくみんなが安心して避難出来るようになってほしいです。

私たちはこれまで災害という観点について考えを述べてきました。もちろん、自分での行動も大切です。

しかし、自分一人では出来ません。その中でボランティアという存在がとても大切になってきます。

皆さんはボランティアをどのようなものと考えていますか？

ラテン語のボランティア「自由意志」が語源となっています。ここから分かるようにボランティアは受動的に行うものではなく、自主的に行うものなのです。

災害時に限らず、その場の状況に合わせて、柔軟な発想で対処をし、他者を助け、自己を成長させて行きましょう。一人一人が他者を思いやる気持ちを持ち生活することで自然と住み続けられる街づくりが出来るでしょう。

[川口] またロータリーの方々はとても温かく接して下さる優しい方々ばかりだと感じました。しかしセミナーを受けている時から、ロータリアンのほうに視線を向けると 特定の年齢層と性別の方ばかりがいらっしゃるのを見て、「本当にこのままのメンバー構成で良いのだろうか」「よりクリエイティブでより多岐にわたる活動を行うには 何か新たな風が吹

いていったら良いのに」と率直に思っていました。そこでとても難しいお願いとはなってしまうのですが、龍ヶ崎中央ロータリーさんに限らず何かしらのイベントだけでも 私達学生やRYLAに参加していた留学生の方のように、年齢・ジェンダー・身体的特徴・国籍にとらわれないメンバーとの交流・活動を推進して頂けるとありがたいです。

その一環として、ぜひロータリーの活動としても災害時の避難訓練や防災に関わる活動、さらにインクルーシブ社会に向けた活動の推進・継続をしてSDGsの実現を目指していただくと幸いです。

4.班などでのコミュニケーションについて(瀧澤)

グループは当日発表され お互い初対面のなかだったので、最初はここから最終的に 15 分の発表をするなんてできるだろうか、と不安でしかなかったです。

この発表に向けての話し合いは、夜遅くまでと朝早くからずつと行いました。SDGs には 17 の目標がありますが、まず何を目標としたいのか、そしてそれを達成するために何をするのかと 全員が悩みながらも、とにかく思っていることを言葉に出して方向性を固めていきました。それだけでなく状況の整理も行うことでグループワークの流れを円滑に進められたのが良かった点だと感じます。

しかし、私は自分の意見を上手く相手に伝えることに苦戦し、聞き手に回って流れを理解するのと 意見を出すバランスに悩みました。それに加え、まだ日本語に慣れていない

メンバーとの意見共有も考えながらの会議はほとんど経験がなかったので不安もありました。

(川口)

そこで私が重要視したポイントが

- ①意見・提案を出す立場と、聞き手に回ってグループの意見を客観的な視点でみる 立場の両立をすること
- ②誰もが対等な話し合いを目指すこと
- ③翻訳に頼らず 進んで英語でのコミュニケーションを取ること

の3点です。

全員が全く異なるバックグラウンドを持つ RYLA セミナーでは、その違いにとらわれず 1つの目標(今回は SDGs)に向けて協力し合えることだと思います。昔から人見知りで自分

から話しかけることがとても苦手な私ですが、このセミナーでは慣れない環境でも すぐに心を開くことができ、初めて本当の意味での会話の楽しさを感じられた気がします。

そして英語の重要さを痛感した 2日間でもありました。英語圏の方に自分の意見を伝えようとする際、特に高校に入ってから英語を使ったディベートや発表・授業を沢山行った

理由が理解できました。同時に自分の英語力の圧倒的不足にも気づかされたので、留学生の方々が一生懸命日本語を覚えるのを待つのではなく、自分の英語力を何倍にも鍛えたいと強く思いました。

4.セミナーを経験しての感想(2人)原稿用紙 2.3 枚分 (瀧澤)

私はこの2日間で改めて SDGs の大切さについて考えることができ、とても充実した時間を過ごすことができました。ライラセミナーには国籍や年齢に関係なく色々な人が参加していて、それぞれの国や年齢での考えや意見を知ることが出来ました。

プレゼンテーションでは目標11の「住み続けられるまちづくりを」についてスライドを作り上げました。言葉の壁や意見の対立、短い時間の中でどれだけの思いや考えを伝えられるプレゼンを作れるかという問題がありましたが、無事にそれらを乗り越え、自分たちにとってこれ以上ないものを仕上げる事が出来ました。チームで頑張って作り上げた達成感もありましたが、1つのゴールから「こんなことができる」とか「こんな方法がある」など考えの幅が広がっていき、充実したグループワークになりました。

最近、学生の私たちは SDGs という言葉はよく聞いたり、授業で取り上げられたりして知っていたはずでしたが、このセミナーで更に多くの知識や考えを得て、自分にできることは何なのかを改めて考え直すきっかけになりました。高校生という立場でできることは少ないのが現状ですが、SDGs の17のゴールに少しでも貢献できる様にこれからもたくさんのボランティアや活動をしていきたいです。

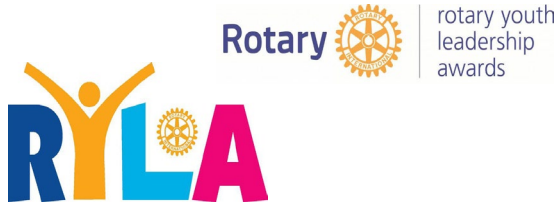
(川口)感想

- ・2日間で成長したこと...意見を言う力
他人の意見をまとめながら流れを作る
自分から積極的に動く力
- ・今後この経験を生かしたい場所

…2年総合探求 / 生物で環境について学ぶ / 今後のボランティア / 理学療法士

平和構築と紛争予防月間

RYLAセミナー「SDGsを学ぼう」



ここで質問！！

Q. 災害時に避難所にちゃんと避難できるか不安に感じている障がい者の左は何パーセント？

- 1.約20%
- 2.約50%
- 3.約80%

竜ヶ崎第一高等学校1年 川口紗英

出身中学校 龍ヶ崎市立愛宕中学校(現:龍ヶ崎中)
 趣味 音楽鑑賞・ダンス
 部活 ダンス(チア)
 将来の夢 理学療法士



参加してみたいボランティア 海外の方たちや 同年代の方と関われるもの
 病院や高齢者施設でのボランティア

“No one will be left behind”

11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES

ひとりも取り残さないために
 ~インクルーシブ防災~



ライラセミナー2日目



●個人として

①避難訓練



②助け合う



③普段から



笑顔で!!

講義① 星野幸子先生 「SDGsとは何なのか」



5つのP



- 一番目 経済
- 二番目 社会
- 三番目 環境



●防災講習会



まちの安全確認



講義③ 富田敬子先生「グローバル化とSDGs」



[グローバル化]
 社会的・経済的な関連が 旧来の境界を越えて地球規模に拡大して様々な変化を引き起こすこと。
 国際的にヒト・モノ・カネが活発に移動!!

[メリット]
 外国文化へのアクセス/
 開発途上国への投資/
 外国企業との競争の 増加

[デメリット]
 文化の均一化/
 感染症の世界的蔓延/
 輸入の増加で産業の空洞化

